

有明山

毎日新聞旅行

14 ~ 15日

豊科あたりから見ると、北アルプスの一角で富士山型をした美しい山である。信濃富士とも呼ばれている。

1日目の14日はバス移動のみであるのでわさび農園などに寄って時間をつぶす。

今回のメンバーは男 5人に女 17人のいつものような構成である。F ジタさんは毎度おなじみ。現在 55 歳の現役である。何の仕事をしているのか判らないがとにかくよく合う。その上世界 90 カ国を回ったといっているの、ますます判らなくなる。K シワギさんもよく合う顔だ。65 歳で年金族であるという。最年長は 77 歳の M ヨシさん、日本を代表する電機メーカ



ーの H 製作所でロンドン支店長の経験もあるという。64 歳から山登りを始めてすでに 100 名山は終わったという。K クチさんは 75 歳で、毎朝近くの荒川沿いのウォーキングロードを 10 キロ近く歩くということで、この日も新宿 10 時集合にも拘らず、早朝に 8 km 歩いてからやってきたということである。女性陣では 4 月のスリヤピークで一緒であった札幌からくる H ラダさんが認識できたが、他にもよく見る人がたくさんいた。バスや旅館はもちろんのこと男女別であり、歩く順序も女性は前の方で男は後ろの方となることが多く、女性の方は覚えにくい。ツアーリーダーは今年よく合う宮代さんと元気印バー様の戸村さんで、6 月の上州武尊山と一緒に。現地ガイドはありあけ山案内人組合の下條さん、2012 年の餓鬼岳の時も案内してもらった。この辺のエリアを得意にしているみたいだ。“以前餓鬼

岳でお世話になりました”といったら、“あー、そうでしたね”という返事をもらったが、本当に覚えていてくれたかどうかは疑問である。なんせ相手はたくさんの人を相手にしているのであるから、俺の方だって下條という名前に耳が反応しただけであって、ちゃんと覚えていたわけではない。

有明山の登山は急登の連続であると聞かされていた、確かにきつかった。6時から歩き始めて頂上は10時過ぎ。降りには10時45分から13時10分。最近の俺は登りでは息が切れてきつく、降りでは前の人に追いつけなくてきつい。その点MヨシさんやKクチさんは何の苦労も感じていないように見える。

今回はスマホをガラ系に買い直して初めて山に持参した。2年間くらいスマホを使ったが、電話とメール以外はたまにインターネットでプロ野球情報を見るくらいである。電車の中で相撲を聞いたる見たりしたこともあったが電池がすぐになくなってしまう。すでに年金族にとっては電話やメールさえほとんどない。それなのにスマホは6,000円/月位かかる。ガラ系の時は1,500円/月程度であった。その差額分だけ使いこなしていなかったよ。そんな気持ちで14日のわさび農園ではガラ系で写真を撮った。そのモードにセットしたままで翌日に持ち越したら電池が無くなってしまって、撮ったはずの写真も消えてしまった。使い慣れるまでまた時間がかかりそうだ。



というわけで姿の良い有明山の写真は無くなってしまった。

この日泊まった有明壮は評判の良い山荘ということであったがそれほどとも思わなかった。

これで日本 200 名山も 70 に乗せたが、全部やろうという気は無い。北海道の山や南アルプスの鋸岳など、今の俺にはハードルが高くなってしまった山が多すぎる



有明壮